

第5回日本小児へそ研究会のご挨拶



この度、第5回日本小児へそ研究会をお世話させていただきますことをたいへん光栄に存じ、皆様に対し心より御礼申し上げます。

本研究会は、日本外科学会定期学術集会会期中の開催が恒例となっておりますが、今回も土岐裕一郎会頭のご厚意により、第119回日本外科学会定期学術集会（平成31年4月18日～20日）の19日（金）の午後に開催させていただきます。

小児外科医の「へそ」に対する関心はたいへん高いものがあります。臍ヘルニア・臍帯ヘルニア・腹壁破裂・総排泄腔外反症などの臍を中心とする腹壁の異常や、臍腸管瘻・尿管管遺残・臍肉芽腫など臍そのものを巻き込む疾患群の治療でその扱いが話題となり、また昨今では低侵襲や整容性を重視する観点から、様々な手術で「へそ」が活用されています。これまでの過去4回の研究会では、こういった「へそ」にまつわる演題に関して濃密なディスカッションが行われてまいりました。本研究会の議論の高まりは、年々増加する参加者数にも表れております。第5回を主催させていただく私どもも、その流れを踏襲し、またさらなる高みを目指したいと考えております。

そこで、今回のテーマは「おくのへそみち」といたしました。これは、腹部の中央にあり奥（腹腔）に至る「へそみち」を、俳人松尾芭蕉の東北・北陸紀行「おくのほそ道」にしゃれてみたものです。皆様からは、へその道（手術）の奥義（要点）、あるいはへその「みち（未知）のおく（可能性）」に迫る演題、「臍（ほそ）を嚙んだ」経験を多数応募いただきました。誠にありがとうございました。さらに、「私の薦めるへそ切開法」と題したワークショップを企画させていただき、より深い議論が行えればと考えております。

本研究会がより稔り多きものとなりますよう、多くの先生方にご出席いただき、ご議論いただければ幸いに存じます。

また、研究会終了後に、恒例の日本小児へそ研究会と日本外科学会学術集会（小児外科分野）との合同懇親会を開催いたします。こちらも、皆様のご参加をお待ちしております。

本研究会の成功が、外科学会の、特に小児外科領域の盛り上がりにもつながることを大いに期待しております。

平成31年3月吉日

第5回日本小児へそ研究会 会長
東北大学大学院医学系研究科 発生・発達医学講座小児外科学分野
仁尾 正記

<https://www.gco.co.jp/>

大阪府立 国際会議場 (グランキューブ大阪)



《電車》

- 京阪中之島線「中之島(大阪国際会議場)駅」(2番出口)すぐ
- JR大阪環状線「福島駅」から徒歩約15分
- JR東西線「新福島駅」(2・3番出口)から徒歩約10分
- 阪神本線「福島駅」(3番出口)から徒歩約10分
- 大阪メトロ「阿波座駅」(中央線1号出口・千日前線9号出口)から徒歩約15分

《バス》

- JR「大阪駅」駅前バスターミナルから、大阪シティバス(53系統 船津橋行)または(55系統 鶴町四丁目行)で約15分、「堂島大橋」バス下車すぐ
- シャトルバスが、「リーガロイヤルホテル」とJR「大阪駅」桜橋口の間で運行しており、ご利用いただけます(定員28名)
- 中之島ループバス「ふらら」で地下鉄・京阪「淀屋橋駅」(4番出口・住友ビル前)から約15分

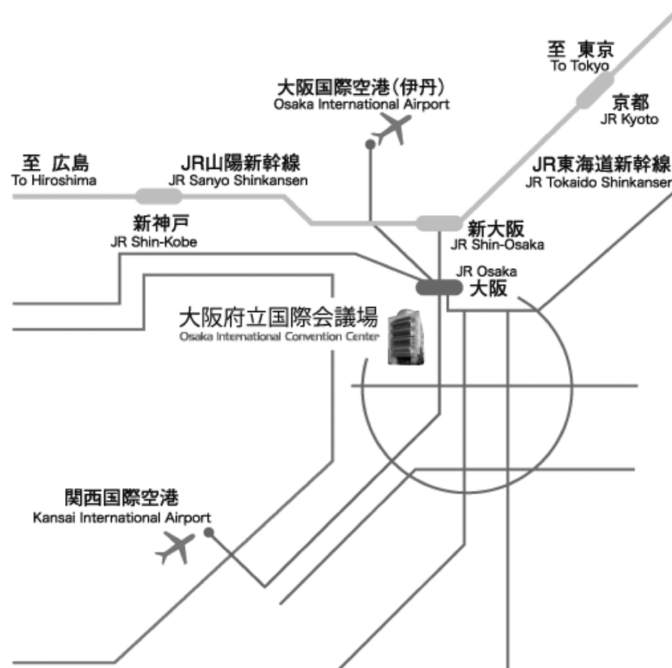
大阪国際会議場

OSAKA INTERNATIONAL CONVENTION CENTER CORP.

〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3番51号

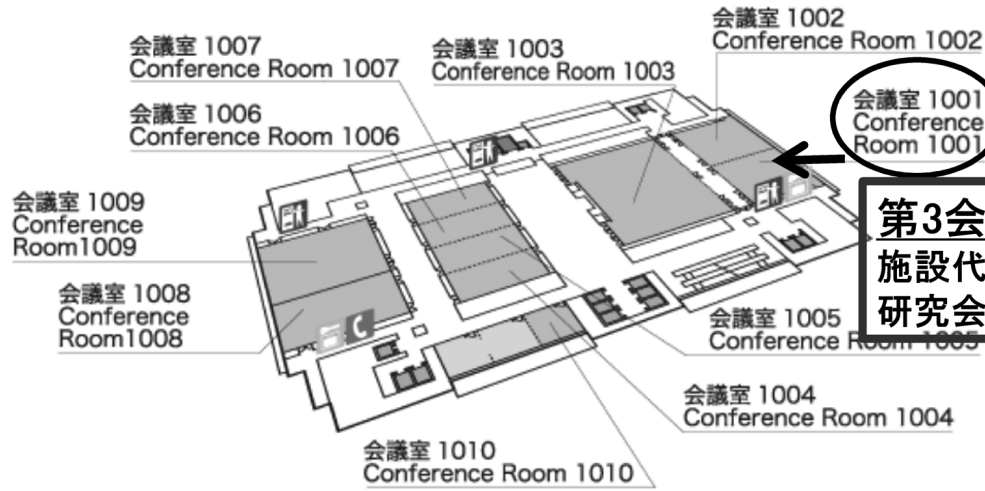
Tel.06(4803)5555(代表) Fax.06(4803)5620

<https://www.gco.co.jp/access/>



会場のご案内

10F

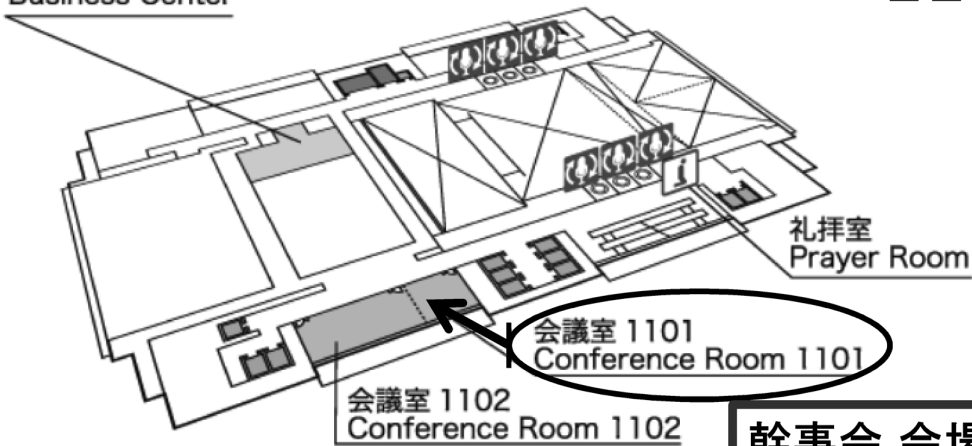


第3会場
施設代表者会議・
研究会 会場

自動販売機(飲料)
 電話
 コインロッカー
 自動体外式除細動器(AED)
 同時通訳ブース

ビジネスセンター
Business Center

11F



幹事会 会場

自動販売機(飲料)
 電話
 コインロッカー
 自動体外式除細動器(AED)
 同時通訳ブース

参加者へのご案内とお願い

I. 開始時間・プログラムなど

受付開始時間は午後15時00分からです。

抄録集は、受付の際に1部お渡しします。2部以上必要な方には、1,000円で販売致します。

II. 参加費について

本研究会の受付で研究会参加費3,000円をお納めください。

参加証兼領収書をお受け取りください。

研究会開催中は必ずご着用ください。

III. 第119回日本外科学会学術集会の参加登録について

受付の場所と時間は、学術集会ホームページ <http://www.jssoc.or.jp/jss119/>にて、ご確認ください。

IV. 口演発表について

一般演題：各セッション講演時間4分、質疑応答2分

ワークショップ：講演時間4分

総合討論：20分

前置きは省略して講演主旨を時間厳守で簡潔に述べて下さい。

■ PC 発表の皆様へ

PCによるプレゼンテーションは、各演者ご自身が持ち込むノートパソコン（Windows または Macintosh）もしくはデータ持込（PowerPoint）にてお願いいたします。会場では、演者ご自身で演台上の機材を操作していただきます。解像度は、XGA（1024×768）となります。

1. 発表データ及び持込パソコンの受付について

1) 受付場所

今回、研究会会場は国際会議場10階のため、国際会議場側のPCセンターでの受付をお願いいたします。

発表データの受付、パソコン持込の場合の出力チェック、確認は全てPCセンター（発表データ受付）にて行います。PCセンターの設置場所は下記となります。

発表データの受付は、ご自身の発表会場にあるPCセンターをご利用ください。

PCセンター設置会場	フロア	場 所
大阪国際会議場	8 F	会議室801
	12 F	ホワイエ
リーガロイヤルホテル大阪	2 F	ロビー

データの持込の場合は、オペレーターがデータを受け取り、サーバーにコピーします。コピーされたデータは、LAN 回線にて施設ごとに各発表会場に配信されます。なお、コピーされたデータは終了後、主催者側で責任を持って消去いたします。

2) 受付時間

発表セッション開始1時間前までに、受付をお済ませください。午前中は当日発表分のデータのみ受け付けますが、午後からは翌日以降のデータ受付も可能です。受付終了後、発表セッション開始30分前までに会場内演台付近のオペレーター席にお立ち寄りください。

なお、データ受付時間は下記のとおりです。

	4月18日(木)	4月19日(金)	4月20日(土)
発表データ受付時間	7:15~17:40	7:30~18:00	7:30~16:00

2. パソコン持込の場合の注意点

- 1) パソコン本体を持込の場合はPCセンターにてパソコンの出力チェック後、発表セッション開始30分前までにご自身で会場内演台付近のオペレーター席までパソコンをお持ちください。パソコンは、発表終了直後にオペレーター席にて返却いたします。
- 2) ノートパソコン持込の場合でもバックアップ用データをCD-R またはUSB フラッシュメモリでご持参ください。また、パソコンのACアダプターは必ずご自身でご用意ください。
- 3) Macintosh はご自身で使用しているソフトを使用できます (Keynote 含む)。
- 4) 会場でご用意するPCケーブルコネクタの形状はMiniD-Sub15ピンです。この形状にあったノートパソコンをご用意ください。また、この形状に変換するコネクタを必要とする場合には必ずご自身でお持ちください。
- 5) スクリーンセーバーならびに省電力設定は事前に解除してください。

3. 発表データ持込 (CD-R または USB フラッシュメモリ) の場合の注意点

- 1) メディアはCD-R またはUSB フラッシュメモリでの持ち込みに限ります。
- 2) データファイル名の統一

持ち込まれるメディアには、当日発表されるデータ (完成版) 以外のデータを入れないようにしてください。

またデータのファイル名は、下記の要領で演題番号 (半角) に続けて演者の氏名 (漢字) を必ずつけてください。(海外演者はアルファベットで可)

例: PD-8-5 大阪一郎 SF-017-9 関西花子
 「半角」 「半角」

- 3) OS は Windows7、Macintosh 10.6.8. データ作成のアプリケーションソフトは (Windows) Microsoft PowerPoint2007、2010、2013、2016、(Macintosh) PowerPoint2011 バージョンをご用意しております。

※フォントは文字化け、レイアウトのくずれを防ぐため下記フォントに限定させていただきます。

MS ゴシック、MS P ゴシック、MS 明朝、MS P 明朝、Arial、Arial Black、Century、Century Gothic、Times New Roman

※動画ファイルの注意点

Windows の場合 Windows7 (OS) 及び Windows Media Player11 の初期状態に含まれるコーデックで再生できる動画ファイルをお持ちください。

(動画ファイルは WMV 形式を推奨します)

Macintosh の場合 10.6.8 (OS) 及び QuickTime10.0 の初期状態に含まれるコーデック

クで再生できる動画ファイルをお持ちください。

(動画ファイルは MOV 形式を推奨します)

※ファイルサイズは 1 GB 以内になるようお願いいたします。

V. 座長の先生へ

ご担当のセッション開始の10分前までに次座長席にて準備をしてください。

座長紹介のアナウンスは行いません。

時間を確認して円滑な進行をお願いいたします。

VI. 一般討論者へ

座長の許可を受けたうえで、所属、氏名を明らかにしてから討論を始めて下さい。

次発言者はマイクの前まで移動してお待ちください。

VII. 二次抄録について

日本小児外科学会雑誌に抄録を掲載いたします。抄録内容に変更のある場合は研究会終了後1週間以内に第5回日本小児へそ研究会事務局 hesoken5@med.hyushu-u.ac.jp までご連絡ください。

幹事会・施設代表者会議・懇親会のご案内

幹事会

会合名：第5回日本小児へそ研究会 幹事会

日 時：平成31年4月19日（金）12：30～13：30

会 場：大阪国際会議場 11F 1101

施設代表者会議

会合名：第5回日本小児へそ研究会 施設代表者会議

日 時：平成31年4月19日（金）16：30～16：45

会 場：大阪国際会議場 10F 1001（第3会場）

小児外科（へそ研・外科学会）合同懇親会

日 時：2019年4月19日（金）20時～

会 費：3,000円

会 場：中之島ソーシャルイート アウェイク (<http://www.nakanoshima-social-eat-awake.jp>)

〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-27 大阪中央公会堂 B1F

TEL：06-6233-9660

プログラム

16：45～16：50 開会の辞

16：50～17：25 セッションⅠ 臍腸管瘻・尿膜管遺残

座長 四国中央病院小児外科 大塩 猛人

1. 臍ヘルニア嵌頓と誤診された臍腸管遺残症の一例

順天堂大学医学部小児外科 村上 寛

2. 出生前診断した臍帯のう胞を伴う尿膜管遺残の一例

九州大学大学院医学研究院小児外科学分野 吉丸耕一郎

3. 臍腸管遺残と尿膜管遺残の2例

聖マリアンナ医科大学小児外科 古田 繁行

4. 尿膜管洞・嚢胞の感染コントロールと手術に関して

九州医療センター小児外科 甲斐 裕樹

5. 尿膜管遺残症に対する従来法と鏡視下手術の比較検討

大阪大学小児外科 出口 幸一

17：25～17：55 セッションⅡ 臍形成・臍圧迫療法

座長 大阪大学大学院小児成育外科学 田附 裕子

6. 腹壁閉鎖後の臍欠損症に対する梶川1法による臍形成術の経験

北里大学病院小児外科 田中 潔

7. 乳児の「臍皮余剰へそ」について

四国中央病院、聖マルチン病院小児外科 大塩 猛人

8. 平坦型臍変形に対する梶川第1法（S字切開）臍形成術の経験

東京都立小児総合医療センター外科 富田 紘史

9. 臍ヘルニア・臍突出症手術に対する高周波ラジオ波メスの有用性に関する検討

兵庫医科大学小児外科 銭谷 昌弘

17:55~18:25 セッションⅢ その他

座長 北里大学病院 小児外科 田中 潔

10. 当院で経験した臍部腫瘍の2例

自治医科大学小児外科 辻 由貴

11. 巨大臍帯ヘルニアにおける被覆保護材による臍帯上皮化の有効性

福島県立医科大学附属病院小児外科 清水 裕史

12. 乳児期から観察し特異な経過を取った白線ヘルニアの一手術例

四国中央病院小児外科 大塩 猛人

13. 小児総胆管嚢腫に対する da Vinci 支援下総肝管空腸吻合における臍部ポート留置の工夫

順天堂大学医学部小児外科・小児泌尿生殖器外科 越智 崇徳

18:25~19:10 セッションⅣ ワークショップ 「私の薦めるへそ切開法」

座長 東北大学小児外科 和田 基

14. 肥厚性幽門狭窄症に対する臍内弧状切開法

四国こどもとおとなの医療センター小児外科 岩村 喜信

15. 臍内縦切開法

大分県立病院小児外科 濱田 洋

16. 臍内ベンツ型切開法について

名古屋大学大学院医学系研究科小児外科学 田井中貴久

17. 臍Z型切開法を用いた小児外科領域の手術

大津赤十字病院小児外科 高田 斉人

18. 臍部Ω型切開法

東北大学小児外科 工藤 博典

19:10~19:15 次期会長挨拶

慶應義塾大学小児外科 黒田 達夫

19:15~19:20 閉会の辞